

特定技能10名受入れ

海外拠点から初入国



岩崎庸介
上席執行役員

ONODERA USER RUN（東京都千代田区）の紹介によるミャンマー人の特定技能人材（介護）10名が昨年12月25日に入国した。同社が海外拠点で育成した人材としての入国は初となる。

それ2名ずつ配属。コロナ禍における入国規定に伴い、PCR検査及び14日間の隔離措置を経て、1月中旬より勤務を開始している。

入国した10名（女性8名、男性2名）は、介護施設（神奈川県2施設、千葉県2施設、茨城県1施設）にそれ

員は「海外拠点での教育を開始してから約3年半経ち、ようやく実績ができた。現在、2000名以上の人材が

希望を抱きながら勉強しており、ここからが私たちの本当のスタートだと考えている」と語る。

同社は、東南アジア4カ国（ミャンマー、カンボジア、フィリピン、ベトナム）における人材教育事業と、日本国内の特定技能人材

紹介、就職後のサポート事業をワンストップで展開している。海外教育拠点では昨年12月時点、学生数は214名。これまで437名の特定技能評価試験（介護）の合格者を輩出。ミャンマーで行われている介護技能評価試験では、98・2%の合格率で同国全体の合格者数における同社の割合は約7割と、高いシェアを占めている。

今後について、岩崎上席執行役員は「これからは『人材を世界から選ぶ』時代になる。日本の医療・介護福祉



▲10名がミャンマーから来日

学生数2000名超

業界の“労働力不足”という社会問題を解決するため、東南アジアの若者全地域に実績を上げ、海外人材のパイオニアになることを目指す」と語る。

い。また、日本国内の地域に実績を上げ、全地域に実績を上げ、海外人材のパイオニアになることを目指す」と語る。

紹介、就職後のサポート事業をワンストップで展開している。海外教育拠点では昨年12月時点、学生数は214名。これまで437名の特定技能評価試験（介護）の合格者を輩出。ミャンマーで行われている介護技能評価試験では、98・2%の合格率で同国全体の合格者数における同社の割合は約7割と、高いシェアを占めている。

今後について、岩崎上席執行役員は「これからは『人材を世界から選ぶ』時代になる。日本の医療・介護福祉